

令和6年度 宗谷管内ミドルリーダー養成研修

日時： 令和6年（2024年）7月29日（月）13:30～16:30

参加者： 管内教職員33名、管外教職員32名

目的： 学校運営に積極的に参画する意欲を高める。

内容： 講話、質疑応答、グループワーク

○ 研修1【稚内市立宗谷小学校教頭 國廣 尚人 様】

「ミドルリーダーとは」

①ミドルリーダーに求められる資質や能力

- ・学校教育目標の具現化に向けて、ただ指示を待って動くのではなく、自分たちのアイデアを積極的に出し合い、子どもたちのためにできることを主体的に実施できる集団づくり、つまり自走する組織をつくり、そのリーダーとして運営できる力が重要と考える。
- ・自走する組織のリーダーに必要な資質や能力を身につけるためには、目標を共有化し、担当者の思いや考えを引き出し、企画・作成したものをアドバイス・チェックし、運営を任せ（支援しながら）、反省したことを次につなげていくことを繰り返していくことが大切である。



②ミドルリーダーのやりがいと魅力

- ・個人としての充実感と、集団としての充実感を高めること。
- ・よりよい教育活動に向けた取組の充実が、よりよい職場づくりに繋がり、最終的に子どもの成長に結びつくこと。

○ 研修2【稚内市立稚内東中学校教頭 平岡 雅子 様】

「ワークライフバランスについて」

①女性の働く環境について

- ・文部科学省によると、管理職に占める女性の割合は、教員全体に占める女性の割合と比較して低く、特に校長の割合が低い。
- ・女性管理職育成に向けての課題として、「身近にロールモデルがあまりいないこと」、「管理職として深く考えるスキルや意欲を培う機会がないこと」、「子育て真っ最中の環境と両立できるか」等があると感じている。

②仕事と家庭・育児との両立

- ・見通しを持って計画的に仕事を行うこと、また定時退勤できる時には定時退勤する。
- ・職場の上司、同僚、家族等の理解が必要であり、それぞれの事情をお互いに尊重しあう必要がある。

③教頭としての喜び

- ・広い視野で子どもや仕事を見ることができ、学校運営の醍醐味を味わえる。
- ・教員の成長に関わることができ、自身が人間として成長することができる。



○ グループワーク 1

「ミドルリーダーとは」

- ・職員が安心して仕事ができる環境づくりを行う必要がある。
- ・若手職員とベテラン教員・管理職との「つなぎ役」であり、互いの意見をまとめて教育活動を進めていく必要がある。
- ・気配りや目配りをしてフォローをしたり、言うべき所ではしっかり発言したりする必要がある。

○ グループワーク 2

「ワークライフバランスについて」

- ・いかに効率的に業務を行えるかが大切であり、そのためには見通しをもって計画的に仕事を行うことが必要である。
- ・計画的に定時退勤したり、業務分担を適切に行ったりすることが必要である。
- ・プライベートでの生きがいを見つけるといったライフ面を充実させる意識をもつことが必要である。



○ 参加者の反応

参加者からは、「職員全員が安心して力を発揮できる環境が大切で、ミドルリーダーはその環境づくりを担っていることが分かった。」「実際に体験談を聞かせていただいたことで、これからの自分の役割を考えるきっかけとなった。」「仕事と生活のバランスが改めて重要であると感じた。同時にバランスを取ることは難しいとも感じた。」「ワークライフバランスのためには、適切な業務分担が必要であり、ミドルリーダーの役割が大きいと感じた。」といった意見もあり、ミドルリーダーとしての資質向上を図る研修機会となった。